平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月10日

上場会社名 フィデアホールディングス株式会社　　上場取引所　東
コード番号 8713　URL http://www.fidea.co.jp/
代表者　(役職名) 代表執行役社長　(氏名) 里村 正治
問合せ先責任者　(役職名) 専務執行役　(氏名) 原田 儀一郎　TEL 022-290-8800

四半期報告書提出予定日　平成26年2月12日　特定取引勘定設置の有無　無
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	37,869	4.5	8,065	23.6	5,016	24.1
25年3月期第3四半期	36,228	△0.4	6,520	29.9	4,041	65.5

(注)包括利益　26年3月期第3四半期　7,033百万円　(27.4%)　25年3月期第3四半期　5,518百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	34.96	25.37
25年3月期第3四半期	28.17	21.55

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	2,609,954	84,803	3.2
25年3月期	2,488,060	78,692	3.1

(参考)自己資本　26年3月期第3四半期　83,619百万円　25年3月期　77,486百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	―	―	5.00	5.00
26年3月期	―	―	―		
26年3月期(予想)				5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

(注)上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,000	15.3	4,700	11.1	31.81

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
②①以外の会計方針の変更	: 有
③ 会計上の見積りの変更	: 無
④ 修正再表示	: 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	143,464,890 株	25年3月期	143,464,890 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	11,946 株	25年3月期	8,108 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	143,454,703 株	25年3月期3Q	143,458,027 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。
なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

「種類株式の配当の状況」

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る１株当たり配当金の内訳は次のとおりです。

Ｂ種優先株式	１株当たり配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年３月期	―	―	―	5.84	5.84
26年３月期	―	―	―		
26年３月期（予想）				5.44	5.44

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
（四半期連結損益計算書） …… 5
（四半期連結包括利益計算書） …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
４．（参考）個別業績の概況（株式会社 荘内銀行） …… 8
５．（参考）個別業績の概況（株式会社 北都銀行） …… 11
６．四半期決算補足説明資料
○ 平成26年３月期 第３四半期決算短信 説明資料
○ 平成26年３月期（平成25年度）第３四半期 決算概要について

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、株高や円安による消費者マインドの好転を背景とした個人消費増加や、アベノミクスなどの政策効果による公共投資の増加に支えられ、緩やかな回復基調となりました。また、当社グループの主たる営業エリアである東北地方は、東日本大震災の復興需要で公共投資と住宅投資が増加しているほか国内外の需要増により、タブレット向けの電子部品の生産が増加している等、全体としては回復の動きを示しております。

このような状況下で、当第３四半期連結累計期間の経営成績のうち連結経常収益は、役務取引等収益や有価証券売却益の増加等で、前年同期比16億40百万円（4.5%）増加の378億69百万円となりました。一方、連結経常費用は、経費の増加等で、前年同期比96百万円（0.3%）増加の298億４百万円となりました。その結果、連結経常利益は前年同期比15億44百万円（23.6%）増加の80億65百万円、四半期純利益は前年同期比９億74百万円（24.1%）増加の50億16百万円となりました。

なお、当社グループの中核的企業である子銀行のうち、株式会社荘内銀行（以下、「荘内銀行」）単体の経営成績は、経常収益が前年同期比17億79百万円（10.6%）増加の185億65百万円、経常利益が前年同期比17億10百万円（66.1%）増加の42億98百万円、四半期純利益が前年同期比11億48百万円（74.8%）増加の26億83百万円となりました。一方、株式会社北都銀行（以下、「北都銀行」）単体の経営成績は、経常収益が前年同期比２億29百万円（1.3%）減少の170億23百万円、経常利益が前年同期比66百万円（2.4%）増加の27億47百万円、四半期純利益が前年同期比１億16百万円（8.4%）増加の15億２百万円となりました。

（２）財政状態に関する説明

当社グループ連結の主要勘定残高のうち、譲渡性預金を含む総預金の当第３四半期連結会計期間末残高は、個人預金、公金預金を中心に増加し、前連結会計年度末比1,305億円（5.7%）増加の２兆4,199億円となりました。貸出金の当第３四半期連結会計期間末残高は、個人ローンや地方公共団体向け貸出を中心に増加し、前連結会計年度末比246億円（1.5%）増加の１兆6,269億円となりました。有価証券の当第３四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末比579億円（7.4%）増加の8,391億円となりました。

なお、当社グループの中核的企業である子銀行のうち、荘内銀行単体の総預金の当第３四半期会計期間末残高は前事業年度末比636億円（5.5%）増加の１兆2,070億円、貸出金の当第３四半期会計期間末残高は前事業年度末比185億円（2.1%）増加の8,830億円、有価証券の当第３四半期会計期間末残高は前事業年度末比329億円（9.6%）増加の3,731億円となりました。一方、北都銀行単体の総預金の当第３四半期会計期間末残高は、前事業年度末比732億円（6.3%）増加の１兆2,328億円、貸出金の当第３四半期会計期間末残高は前事業年度末比61億円（0.8%）増加の7,568億円、有価証券の当第３四半期会計期間末残高は前事業年度末比249億円（5.5%）増加の4,744億円となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第３四半期連結累計期間の経常利益及び四半期純利益につきましては、主に与信関係費用が予想を下回っていることから、当第３四半期時点で平成25年11月12日に公表した平成26年３月期の通期業績予想を上回っておりますが、与信関係費用等不確定要因を保守的に見込んでいることなどから、現時点において業績予想の修正はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び一部の連結子会社における建物及びその他の有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却の方法は、従来、主として定率法を採用しておりましたが、第１四半期連結会計期間より定額法へ変更しております。

当社及び一部の連結子会社は、平成25年４月からスタートするフィデアグループ第２次中期経営計画（平成25年度～平成27年度）において、当連結会計年度以降、「店舗政策の策定」及び「基幹系システム更改を中心とした事務機器等の大規模な更新投資」が見込まれるため、投資案件について投資形態のあり方等も含めて総合的に検討を行いました。

これらの検討を契機に有形固定資産の減価償却方法を見直したところ、今後、営業店舗及び事務機器等は構造的陳腐化のリスクが低くなることにより長期的かつ安定的に利用され、また、修繕費等の設備維持コストは毎期概ね定額的に発生することなどにより、投資効果は長期的かつ安定的に発現すると見込まれるため、使用可能期間にわたり均等に費用を配分する定額法のほうがより使用実態を適切に反映すると判断したため、この変更を行ったものであります。

この変更による四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
資産の部		
現金預け金	59,222	94,003
買入金銭債権	4,531	5,302
商品有価証券	59	74
金銭の信託	1,966	2,010
有価証券	781,166	839,127
貸出金	1,602,277	1,626,945
外国為替	2,020	2,564
その他資産	9,184	11,237
有形固定資産	21,691	22,722
無形固定資産	1,982	2,741
繰延税金資産	4,388	3,095
支払承諾見返	14,265	15,103
貸倒引当金	△14,694	△14,971
資産の部合計	2,488,060	2,609,954
負債の部		
預金	2,182,791	2,224,631
譲渡性預金	106,607	195,358
コールマネー及び売渡手形	17,302	20,144
債券貸借取引受入担保金	－	11,611
借用金	58,170	21,800
外国為替	14	0
社債	10,000	10,000
新株予約権付社債	－	6,000
その他負債	16,183	14,307
退職給付引当金	1,587	1,659
睡眠預金払戻損失引当金	539	455
偶発損失引当金	365	430
その他の引当金	56	41
繰延税金負債	816	2,950
再評価に係る繰延税金負債	666	656
支払承諾	14,265	15,103
負債の部合計	2,409,368	2,525,151
純資産の部		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	24,744	24,744
利益剰余金	22,708	26,880
自己株式	△1	△2
株主資本合計	62,451	66,622
その他有価証券評価差額金	13,929	15,905
繰延ヘッジ損益	△13	△9
土地再評価差額金	1,119	1,100
その他の包括利益累計額合計	15,034	16,996
少数株主持分	1,205	1,184
純資産の部合計	78,692	84,803
負債及び純資産の部合計	2,488,060	2,609,954

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
経常収益	36,228	37,869
資金運用収益	25,777	25,661
（うち貸出金利息）	20,567	19,720
（うち有価証券利息配当金）	5,170	5,879
役務取引等収益	6,517	7,231
その他業務収益	2,621	2,083
その他経常収益	1,311	2,893
経常費用	29,707	29,804
資金調達費用	2,250	2,301
（うち預金利息）	1,821	1,855
役務取引等費用	2,190	2,272
その他業務費用	1,347	1,584
営業経費	21,630	21,910
その他経常費用	2,288	1,734
経常利益	6,520	8,065
特別利益	28	11
固定資産処分益	8	4
負ののれん発生益	4	6
持分変動利益	15	－
特別損失	38	59
固定資産処分損	13	31
減損損失	25	27
税金等調整前四半期純利益	6,510	8,018
法人税、住民税及び事業税	591	615
法人税等調整額	2,024	2,350
法人税等合計	2,616	2,965
少数株主損益調整前四半期純利益	3,894	5,052
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△147	35
四半期純利益	4,041	5,016

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	3,894	5,052
その他の包括利益	1,624	1,980
その他有価証券評価差額金	1,622	1,977
繰延ヘッジ損益	2	3
四半期包括利益	5,518	7,033
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,667	6,996
少数株主に係る四半期包括利益	△148	37

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

４．（参考）個別業績の概況（株式会社　荘内銀行）

平成26年２月10日

会　　社　　名　　株式会社　荘内銀行
代　　表　　者　　（役職名）取締役頭取　　（氏名）國井　英夫　　URL　http://www.shonai.co.jp/
問合せ先責任者　　（役職名）経営企画部長　　（氏名）宇野　寿人　　TEL　023-626-9006

（百万円未満、小数点第１位未満は切捨て）

○　平成26年３月期第３四半期の個別業績（平成25年４月１日～平成25年12月31日）

(1) 個別経営成績（累計）　　（％表示は対前年同四半期増減率）

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第３四半期	18,565	10.6	4,298	66.1	2,683	74.8
25年３月期第３四半期	16,785	0.4	2,587	12.9	1,534	69.1

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年３月期第３四半期	1,326,162	52,340	3.9
25年３月期	1,266,277	48,569	3.8

（参考）自己資本　　26年３月期第３四半期 52,340百万円　　25年３月期　　48,569百万円

（注）「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部の合計で除して算出しております。

○　四半期個別財務諸表（株式会社　荘内銀行）

（1）四半期貸借対照表

（単位：百万円）

	前事業年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期会計期間 （平成25年12月31日）
資産の部		
現金預け金	40,461	46,690
買入金銭債権	1,545	1,676
商品有価証券	31	48
金銭の信託	966	1,008
有価証券	340,195	373,185
貸出金	864,513	883,072
外国為替	864	1,897
その他資産	3,628	4,061
有形固定資産	12,030	12,536
無形固定資産	601	670
支払承諾見返	5,568	5,749
貸倒引当金	△4,132	△4,435
資産の部合計	1,266,277	1,326,162
負債の部		
預金	1,080,884	1,102,019
譲渡性預金	62,591	105,076
コールマネー	9,302	20,144
債券貸借取引受入担保金	－	11,611
借用金	41,040	9,910
外国為替	0	－
社債	10,000	10,000
その他負債	5,689	4,346
退職給付引当金	933	1,073
睡眠預金払戻損失引当金	154	173
偶発損失引当金	78	133
繰延税金負債	797	2,925
再評価に係る繰延税金負債	666	656
支払承諾	5,568	5,749
負債の部合計	1,217,707	1,273,821
純資産の部		
資本金	7,000	7,000
資本剰余金	18,808	18,808
利益剰余金	14,655	16,750
株主資本合計	40,464	42,559
その他有価証券評価差額金	6,999	8,689
繰延ヘッジ損益	△13	△9
土地再評価差額金	1,119	1,100
評価・換算差額等合計	8,105	9,781
純資産の部合計	48,569	52,340
負債及び純資産の部合計	1,266,277	1,326,162

(2) 四半期損益計算書

（第３四半期累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
経常収益	16,785	18,565
資金運用収益	13,424	13,743
（うち貸出金利息）	10,778	10,527
（うち有価証券利息配当金）	2,628	3,199
役務取引等収益	2,981	3,303
その他業務収益	157	240
その他経常収益	221	1,277
経常費用	14,197	14,267
資金調達費用	1,531	1,589
（うち預金利息）	1,152	1,198
役務取引等費用	1,422	1,505
その他業務費用	23	204
営業経費	10,168	10,304
その他経常費用	1,051	663
経常利益	2,587	4,298
特別利益	0	－
固定資産処分益	0	－
特別損失	0	16
固定資産処分損	0	15
減損損失	－	0
税引前四半期純利益	2,587	4,281
法人税、住民税及び事業税	117	380
法人税等調整額	935	1,217
法人税等合計	1,052	1,598
四半期純利益	1,534	2,683

５．（参考）個別業績の概況（株式会社　北都銀行）

平成26年２月10日

会　　社　　名　　株式会社　北都銀行
代　　表　　者　　（役職名）取締役頭取　　（氏名）斉藤　永吉　　URL http://www.hokutobank.co.jp/
問合せ先責任者　　（役職名）経営企画部長　　（氏名）伊藤　元範　　TEL　018-833-4211

（百万円未満、小数点第１位未満は切捨て）

○　平成26年３月期第３四半期の個別業績（平成25年４月１日～平成25年12月31日）

(1) 個別経営成績（累計）　　（％表示は対前年同四半期増減率）

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第３四半期	17,023	△1.3	2,747	2.4	1,502	8.4
25年３月期第３四半期	17,252	△0.4	2,680	△11.0	1,385	△13.6

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年３月期第３四半期	1,307,122	44,357	3.3
25年３月期	1,244,761	42,905	3.4

（参考）自己資本　　26年３月期第３四半期 44,357百万円　　25年３月期 42,905百万円

（注）「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部の合計で除して算出しております。

○　四半期個別財務諸表（株式会社　北都銀行）

(1) 四半期貸借対照表

（単位：百万円）

	前事業年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期会計期間 （平成25年12月31日）
資産の部		
現金預け金	18,669	47,359
買入金銭債権	1,481	2,212
商品有価証券	27	26
金銭の信託	1,000	1,001
有価証券	449,459	474,431
貸出金	750,732	756,838
外国為替	1,155	666
その他資産	4,635	6,557
有形固定資産	13,107	13,551
無形固定資産	958	1,545
繰延税金資産	3,952	2,642
支払承諾見返	8,718	9,374
貸倒引当金	△7,257	△7,206
投資損失引当金	△1,879	△1,879
資産の部合計	1,244,761	1,307,122
負債の部		
預金	1,111,428	1,132,869
譲渡性預金	48,216	99,981
コールマネー	8,000	－
借用金	19,630	14,390
外国為替	14	0
その他負債	3,701	4,112
睡眠預金払戻損失引当金	385	282
偶発損失引当金	287	297
再評価に係る繰延税金負債	1,474	1,456
支払承諾	8,718	9,374
負債の部合計	1,201,856	1,262,765
純資産の部		
資本金	11,000	11,000
資本剰余金	18,499	18,499
利益剰余金	3,740	5,014
株主資本合計	33,240	34,514
その他有価証券評価差額金	7,230	7,437
土地再評価差額金	2,434	2,405
評価・換算差額等合計	9,665	9,842
純資産の部合計	42,905	44,357
負債及び純資産の部合計	1,244,761	1,307,122

(2) 四半期損益計算書

（第３四半期累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
経常収益	17,252	17,023
資金運用収益	12,097	11,971
（うち貸出金利息）	9,560	9,248
（うち有価証券利息配当金）	2,517	2,682
役務取引等収益	2,893	3,296
その他業務収益	1,651	1,007
その他経常収益	610	747
経常費用	14,572	14,275
資金調達費用	745	761
（うち預金利息）	669	656
役務取引等費用	941	984
その他業務費用	695	1,059
営業経費	10,762	10,674
その他経常費用	1,427	795
経常利益	2,680	2,747
特別利益	7	4
固定資産処分益	7	4
特別損失	49	40
固定資産処分損	22	13
減損損失	27	26
税引前四半期純利益	2,638	2,711
法人税、住民税及び事業税	213	39
法人税等調整額	1,039	1,169
法人税等合計	1,252	1,209
四半期純利益	1,385	1,502

６．四半期決算補足説明資料

平成 26 年３月期　第３四半期決算短信　説明資料

１．損益の状況

（１）フィデアホールディングス【連結】

平成26年３月期第３四半期の連結経常収益は前年同期比16億40百万円増加の378億69百万円（前年同期比4.5%増加）となりました。
連結経常利益は前年同期比15億44百万円増加の80億65百万円（同23.6%増加）、連結四半期純利益は前年同期比９億74百万円増加の50億16百万円（同24.1%増加）となりました。

（単位：百万円）

		平成26年３月期 第３四半期（９カ月累計） (A)	平成25年３月期 第３四半期（９カ月累計） (B)	前年同四半期 対比 (A)－(B)	（参考） 平成26年３月期 通期予想値
連結経常収益	1	37,869	36,228	1,640	
連結粗利益	2	28,816	29,127	△ 311	
（除く国債等債券損益）＝コア業務粗利益	3	(28,513)	(28,294)	(219)	
資金利益	4	23,359	23,527	△ 167	
役務取引等利益	5	4,958	4,327	631	
その他業務利益	6	498	1,273	△ 775	
（うち国債等債券損益）	7	(303)	(833)	(△ 530)	
経費（除く臨時処理分）	8	21,558	21,284	273	
連結業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	9	7,258	7,843	△ 584	
除く国債等債券損益＝コア業務純益	10	6,955	7,009	△ 54	
①一般貸倒引当金繰入額	11	△ 250	△ 1,096	845	
連結業務純益	12	7,508	8,939	△ 1,430	
臨時損益	13	556	△ 2,418	2,974	
②うち不良債権処理額	14	1,693	1,753	△ 60	
③うち貸倒引当金戻入益	15	―	―	―	
④うち償却債権取立益	16	110	163	△ 52	
うち株式等関係損益	17	1,762	△ 1,056	2,819	
連結経常利益	18	8,065	6,520	1,544	8,000
特別損益	19	△ 47	△ 10	△ 36	
税金等調整前四半期純利益	20	8,018	6,510	1,507	
法人税、住民税及び事業税	21	615	591	23	
法人税等調整額	22	2,350	2,024	325	
法人税等合計	23	2,965	2,616	349	
少数株主損益調整前四半期純利益	24	5,052	3,894	1,158	
少数株主損益	25	35	△ 147	183	
連結四半期純利益	26	5,016	4,041	974	4,700

与信関係費用（①＋②－③－④）	27	1,332	493	838

（注）１．記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。
２．平成 26 年３月期第３四半期（９カ月累計）より「経費」、「連結業務純益」、「臨時損益」を記載し、前年同期についても同様に記載しております。
３．連結粗利益＝（資金運用収益－資金調達費用）＋（役務取引等収益－役務取引等費用）＋（その他業務収益－その他業務費用）
４．連結業務純益＝連結粗利益－経費（除く臨時処理分）－一般貸倒引当金繰入額

（２）２行合算【単体】

（単位：百万円）

		平成26年３月期 第３四半期 （９カ月累計） (A)	平成25年３月期 第３四半期 （９カ月累計） (B)	前年同四半期 対比 (A)－(B)
経常収益	1	35,588	34,038	1,550
業務粗利益	2	27,462	27,848	△ 386
（除く国債等債券損益）＝コア業務粗利益	3	(27,078)	(26,593)	(484)
資金利益	4	23,366	23,247	119
役務取引等利益	5	4,111	3,511	599
その他業務利益	6	△ 15	1,090	△ 1,105
（うち国債等債券損益）	7	(384)	(1,254)	(△ 870)
経費（除く臨時処理分）	8	20,539	20,475	64
人件費	9	9,623	9,573	49
物件費	10	9,914	9,917	△ 2
税金	11	1,002	984	17
業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	12	6,922	7,373	△ 450
除く国債等債券損益＝コア業務純益	13	6,538	6,118	419
①一般貸倒引当金繰入額	14	△ 90	△ 569	479
業務純益	15	7,012	7,943	△ 930
臨時損益	16	33	△ 2,674	2,707
②不良債権処理額	17	1,305	1,354	△ 49
貸出金償却	18	0	1	△ 1
個別貸倒引当金繰入額	19	1,141	1,192	△ 50
バルクセール売却損	20	―	15	△ 15
その他の不良債権処理額	21	163	144	19
③貸倒引当金戻入益	22	―	―	―
④償却債権取立益	23	72	94	△ 21
株式等関係損益	24	1,669	△ 1,056	2,725
その他臨時損益	25	△ 403	△ 358	△ 45
経常利益	26	7,046	5,268	1,777
特別損益	27	△ 53	△ 42	△ 10
税引前四半期純利益	28	6,993	5,225	1,767
法人税、住民税及び事業税	29	420	330	89
法人税等調整額	30	2,387	1,974	412
法人税等合計	31	2,807	2,305	501
四半期純利益	32	4,185	2,920	1,265

与信関係費用（①＋②－③－④）	33	1,142	690	452

（注）１．記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。
２．業務粗利益＝（資金運用収益－資金調達費用＋金銭の信託見合費用）＋（役務取引等収益－役務取引等費用）＋（その他業務収益－その他業務費用）
３．業務純益＝業務粗利益－経費（除く臨時処理分）－一般貸倒引当金繰入額

（３）子銀行【単体】

○　荘内銀行

平成26年３月期第３四半期の経常収益は前年同期比17億79百万円増加の185億65百万円（前年同期比10.6%増加）となりました。
経常利益は前年同期比17億10百万円増加の42億98百万円（同66.1%増加）、四半期純利益は前年同期比11億48百万円増加の26億83百万円（同74.8%増加）となりました。

（単位：百万円）

		平成26年３月期 第３四半期（９カ月累計）(A)	平成25年３月期 第３四半期（９カ月累計）(B)	前年同四半期対比 (A)－(B)	（参考）平成26年３月期通期予想値
経常収益	1	18,565	16,785	1,779	
業務粗利益	2	13,990	13,587	402	
（除く国債等債券損益）＝コア業務粗利益	3	(13,922)	(13,522)	(399)	
資金利益	4	12,155	11,894	260	
役務取引等利益	5	1,798	1,559	239	
その他業務利益	6	36	134	△ 97	
（うち国債等債券損益）	7	(68)	(65)	(3)	
経費（除く臨時処理分）	8	9,974	9,846	127	
人件費	9	4,964	4,934	30	
物件費	10	4,558	4,472	86	
税金	11	451	440	10	
業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	12	4,016	3,741	275	
除く国債等債券損益＝コア業務純益	13	3,947	3,675	271	
①一般貸倒引当金繰入額	14	157	△ 176	333	
業務純益	15	3,859	3,917	△ 57	
臨時損益	16	439	△ 1,329	1,768	
②不良債権処理額	17	383	399	△ 16	
貸出金償却	18	0	0	△ 0	
個別貸倒引当金繰入額	19	313	335	△ 22	
バルクセール売却損	20	―	15	△ 15	
その他の不良債権処理額	21	69	47	22	
③貸倒引当金戻入益	22	―	―	―	
④償却債権取立益	23	0	0	△ 0	
株式等関係損益	24	1,125	△ 420	1,546	
その他臨時損益	25	△ 303	△ 510	206	
経常利益	26	4,298	2,587	1,710	4,000
特別損益	27	△ 16	△ 0	△ 16	
税引前四半期純利益	28	4,281	2,587	1,694	
法人税、住民税及び事業税	29	380	117	262	
法人税等調整額	30	1,217	935	282	
法人税等合計	31	1,598	1,052	545	
四半期純利益	32	2,683	1,534	1,148	2,450

与信関係費用（①＋②－③－④）	33	539	222	317

（注）１．記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。
２．業務粗利益＝（資金運用収益－資金調達費用＋金銭の信託見合費用）＋（役務取引等収益－役務取引等費用）＋（その他業務収益－その他業務費用）
３．業務純益＝業務粗利益－経費（除く臨時処理分）－一般貸倒引当金繰入額

○ 北都銀行

平成26年３月期第３四半期の経常収益は、前年同期比２億29百万円減少の170億23百万円（前年同期比1.3%減少）となりました。
経常利益は前年同期比66百万円増加の27億47百万円（同2.4%増加）、四半期純利益は前年同期比１億16百万円増加の15億２百万円（同8.4%増加）となりました。

（単位：百万円）

		平成26年３月期 第３四半期（９カ月累計） (A)	平成25年３月期 第３四半期（９カ月累計） (B)	前年同四半期対比 (A)－(B)	（参考） 平成26年３月期 通期予想値
経常収益	1	17,023	17,252	△ 229	
業務粗利益	2	13,471	14,260	△ 788	
（除く国債等債券損益）＝コア業務粗利益	3	(13,155)	(13,071)	(84)	
資金利益	4	11,210	11,352	△ 141	
役務取引等利益	5	2,312	1,952	360	
その他業務利益	6	△ 51	956	△ 1,007	
（うち国債等債券損益）	7	(316)	(1,189)	(△ 873)	
経費（除く臨時処理分）	8	10,565	10,628	△ 63	
人件費	9	4,658	4,639	18	
物件費	10	5,355	5,445	△ 89	
税金	11	550	543	6	
業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	12	2,906	3,632	△ 725	
除く国債等債券損益＝コア業務純益	13	2,590	2,442	147	
①一般貸倒引当金繰入額	14	△ 247	△ 393	146	
業務純益	15	3,153	4,025	△ 872	
臨時損益	16	△ 405	△ 1,344	939	
②不良債権処理額	17	922	955	△ 32	
貸出金償却	18	—	0	△ 0	
個別貸倒引当金繰入額	19	828	856	△ 28	
バルクセール売却損	20	—	—	—	
その他の不良債権処理額	21	94	97	△ 3	
③貸倒引当金戻入益	22	—	—	—	
④償却債権取立益	23	72	94	△ 21	
株式等関係損益	24	543	△ 636	1,179	
その他臨時損益	25	△ 99	152	△ 251	
経常利益	26	2,747	2,680	66	3,000
特別損益	27	△ 36	△ 42	6	
税引前四半期純利益	28	2,711	2,638	73	
法人税、住民税及び事業税	29	39	213	△ 173	
法人税等調整額	30	1,169	1,039	130	
法人税等合計	31	1,209	1,252	△ 43	
四半期純利益	32	1,502	1,385	116	1,700

与信関係費用（①＋②－③－④）	33	602	467	135

（注）１．記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。
２．業務粗利益＝（資金運用収益－資金調達費用＋金銭の信託見合費用）＋（役務取引等収益－役務取引等費用）＋（その他業務収益－その他業務費用）
３．業務純益＝業務粗利益－経費（除く臨時処理分）－一般貸倒引当金繰入額

２．金融再生法開示債権の状況【単体】

◆ 荘内銀行の金融再生法開示債権比率（単体）は平成25年３月末比0.18ポイント増加の1.99%（平成24年12月末比0.30ポイント減少）となりました。
同行は部分直接償却を実施しておりませんが、実施した場合の金融再生法開示債権比率は1.83%となります。
◆ 北都銀行の金融再生法開示債権比率（単体）は平成25年３月末比0.34ポイント増加の3.30%（平成24年12月末比0.36ポイント増加）となりました。

（１）２行合算

（単位：百万円）

	平成25年12月末	平成24年12月末	平成25年３月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	6,173	6,824	7,451
危険債権	24,618	22,171	20,677
要管理債権	12,562	12,927	10,443
合計 (A)	43,355	41,923	38,572
正常債権	1,624,751	1,574,230	1,602,333
総与信 (B)	1,668,106	1,616,153	1,640,905
総与信に占める割合 (A)÷(B)	2.59%	2.59%	2.35%

（注）１．上記計数は、(2)に記載の各子銀行の計数を単純合算しております。
２．荘内銀行は部分直接償却を実施しておりませんが、実施した場合の金融再生法開示債権比率（２行合算）は2.51%となります。

（２）子銀行

○ 荘内銀行

（単位：百万円）

	平成25年12月末	平成24年12月末	平成25年３月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,759	3,964	3,976
危険債権	9,534	7,603	7,670
要管理債権	4,689	8,273	4,340
合計 (A)	17,982	19,840	15,987
正常債権	882,388	845,674	864,275
総与信 (B)	900,371	865,514	880,262
総与信に占める割合 (A)÷(B)	1.99%	2.29%	1.81%

（注）１．上記計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第４条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しております。
２．また、同計数は各四半期末（事業年度末）を基準日として、荘内銀行の定める自己査定基準に基づき自己査定を行い算出しております。
なお、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」の金額のうち、無価値と認められる部分について直接償却（部分直接償却）は実施しておりません。

○ 北都銀行

（単位：百万円）

	平成25年12月末	平成24年12月末	平成25年３月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,414	2,860	3,474
危険債権	15,084	14,567	13,006
要管理債権	7,873	4,653	6,103
合計 (A)	25,372	22,082	22,584
正常債権	742,363	728,556	738,058
総与信 (B)	767,735	750,638	760,642
総与信に占める割合 (A)÷(B)	3.30%	2.94%	2.96%

（注）１．上記計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第４条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しております。
２．また、同計数は各四半期末（事業年度末）を基準日として、北都銀行の定める自己査定基準に基づき自己査定を行い算出しております。
なお、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」の金額のうち、無価値と認められる部分については直接償却相当額として当該金額を減額（部分直接償却）しております。

３．時価のある有価証券の評価差額【連結】【単体】

（単位：百万円）

		平成25年12月末				平成25年３月末			
		時価	評価差額			時価	評価差額		
				うち益	うち損			うち益	うち損
フィデアＨＤ【連結】	その他有価証券	836,163	23,965	25,733	1,767	778,346	20,923	24,326	3,403
	株式	19,946	5,373	5,535	161	17,095	2,816	3,246	429
	債券	713,597	6,656	7,191	534	673,968	10,207	10,645	437
	その他	102,618	11,935	13,007	1,071	87,282	7,899	10,434	2,535
２行合算【単体】	その他有価証券	836,047	24,057	26,038	1,981	778,245	21,140	24,749	3,608
	株式	19,831	5,502	5,636	133	16,995	2,983	3,362	378
	債券	713,597	6,877	7,409	532	673,968	10,839	11,025	185
	その他	102,618	11,677	12,992	1,315	87,282	7,316	10,361	3,044
荘内銀行【単体】	その他有価証券	371,497	13,434	14,863	1,428	338,057	10,845	13,445	2,600
	株式	12,917	3,887	4,005	117	11,934	2,281	2,592	310
	債券	299,048	4,103	4,532	428	278,206	6,120	6,147	27
	その他	59,531	5,442	6,325	883	47,916	2,443	4,706	2,262
北都銀行【単体】	その他有価証券	464,550	10,623	11,175	552	440,187	10,294	11,303	1,008
	株式	6,914	1,614	1,630	15	5,060	701	769	67
	債券	414,549	2,773	2,877	104	395,761	4,719	4,877	158
	その他	43,086	6,234	6,666	431	39,365	4,873	5,655	782

（注）１．有価証券について記載しております。
２．「評価差額」及び「評価損益」は、取得原価（償却原価適用後、減損処理後。）と時価との差額を計上しております。
３．株式については、決算日前１カ月の市場価格の平均に基づいて算定された価額を、また、それ以外については、決算日における市場価格等に基づく価額を時価としております。
４．平成 25 年３月末においては、変動利付国債について、昨今の市場環境を踏まえた検討の結果、当社グループが定める一定の基準に基づき市場価格を時価とみなせない状態にあると判断したものは、合理的に算定された価額をもって時価としております。
平成 25 年 12 月末においては、保有する全ての変動利付国債について市場価格を時価とみなすことが相当と判断し、市場価格をもって時価としております。
５．なお、満期保有目的の債券及び時価のある子会社・関連会社株式は該当ありません。

４．預金、貸出金等の状況【単体】

（１）預金等（含む譲渡性預金）

◆　荘内銀行の平成25年12月末における預金等の残高は平成25年３月末比636億円増加の１兆2,070億円（平成24年12月末比731億円増加）となりました。
◆　北都銀行の平成25年12月末における預金等の残高は平成25年３月末比732億円増加の１兆2,328億円（平成24年12月末比363億円増加）となりました。

（単位：百万円）

		平成25年12月末	平成24年12月末	平成25年３月末
２行合算	預金等（含む譲渡性預金）	2,439,948	2,330,443	2,303,121
	うち個人預金	1,713,097	1,652,760	1,665,380
荘内銀行	預金等（含む譲渡性預金）	1,207,096	1,133,958	1,143,475
	うち個人預金	851,795	809,185	823,638
北都銀行	預金等（含む譲渡性預金）	1,232,851	1,196,484	1,159,645
	うち個人預金	861,302	843,575	841,741

（２）貸出金

◆　荘内銀行の平成25年12月末における貸出金の残高は平成25年３月末比185億円増加の8,830億円（平成24年12月末比338億円増加）となりました。
◆　北都銀行の平成25年12月末における貸出金の残高は平成25年３月末比61億円増加の7,568億円（平成24年12月末比170億円増加）となりました。

（単位：百万円）

		平成25年12月末	平成24年12月末	平成25年３月末
２行合算	貸出金	1,639,911	1,589,040	1,615,245
	うち消費者ローン残高	562,646	531,414	539,726
	うち住宅ローン残高	506,935	478,949	485,715
荘内銀行	貸出金	883,072	849,249	864,513
	うち消費者ローン残高	366,106	338,647	346,810
	うち住宅ローン残高	344,784	318,698	326,199
北都銀行	貸出金	756,838	739,790	750,732
	うち消費者ローン残高	196,540	192,766	192,915
	うち住宅ローン残高	162,150	160,251	159,515

５．投資信託及び公共債の預かり残高、生命保険の販売累計額【単体】

◆　荘内銀行の平成25年12月末における投資信託の預かり残高は平成25年３月末比93億６百万円減少の562億17百万円（平成24年12月末比66億９百万円減少）となり、生命保険の販売累計額は平成25年３月末比215億10百万円増加の2,059億38百万円（同254億84百万円増加）となりました。

◆　北都銀行の平成25年12月末における投資信託の預かり残高は平成25年３月末比７億76百万円減少の401億87百万円（平成24年12月末比24億52百万円増加）となり、生命保険の販売累計額は平成25年３月末比190億６百万円増加の1,693億85百万円（同251億73百万円増加）となりました。

（単位：百万円）

		平成25年12月末	平成24年12月末	平成25年３月末
２行合算	投資信託	96,405	100,561	106,488
	公共債（国債等）	30,542	37,474	36,193
	生命保険	375,324	324,666	334,807
	うち個人年金保険	218,799	206,393	207,500
	うち一時払い終身保険	156,525	118,272	127,307
荘内銀行	投資信託	56,217	62,826	65,524
	公共債（国債等）	10,339	11,111	11,062
	生命保険	205,938	180,454	184,428
	うち個人年金保険	121,476	115,292	116,058
	うち一時払い終身保険	84,461	65,161	68,369
北都銀行	投資信託	40,187	37,734	40,964
	公共債（国債等）	20,203	26,363	25,130
	生命保険	169,385	144,212	150,379
	うち個人年金保険	97,322	91,100	91,441
	うち一時払い終身保険	72,063	53,111	58,937

（注）生命保険は、販売累計額を記載しております。

平成 26 年 2 月 10 日

各　　位

フィデアホールディングス株式会社
株 式 会 社　荘 内 銀 行
株 式 会 社　北 都 銀 行

平成 26 年３月期（平成 25 年度）第３四半期　決算概要について

フィデアホールディングス株式会社（本社：仙台市、社長：里村 正治、以下「フィデアＨＤ」）は、平成 26 年３月期（平成 25 年度）第３四半期連結業績等の概要と、株式会社荘内銀行（本店：山形県鶴岡市、頭取：國井 英夫、以下「荘内銀行」）及び株式会社北都銀行（本店：秋田市、頭取：斉藤 永吉、以下「北都銀行」）の単体業績等につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. フィデアＨＤ

(1) 平成 26 年３月期 第３四半期（平成 25 年４月１日～平成 25 年 12 月 31 日）連結業績

好調な預かり資産営業を背景とした役務取引等収益の増加や、市況環境好転による有価証券関係収益の増加などから、前年同期比増収。経常利益、四半期純利益は前年同期比増益。

譲渡性預金を含む預金等残高は、個人預金、法人預金を中心に増加し、前年同期末比 1,025 億円（4.4%）増加の２兆 4,199 億円。貸出金残高は個人ローンや地方公共団体向け貸出を中心に増加し、前年同期末比 504 億円（3.2%）増加の１兆 6,269 億円。

			番号	フィデアHD	前年同期(末)	前年同期(末)比	同増減率
【連結】	損益	経常収益	(1)	37,869 百万円	36,228 百万円	1,640 百万円	4.5 %
		業務純益	(2)	7,508 百万円	8,939 百万円	△ 1,430 百万円	△ 16.0 %
		コア業務純益*	(3)	6,955 百万円	7,009 百万円	△ 54 百万円	△ 0.7 %
		経常利益	(4)	8,065 百万円	6,520 百万円	1,544 百万円	23.6 %
		四半期純利益	(5)	5,016 百万円	4,041 百万円	974 百万円	24.1 %
	主要勘定残高（末残）	総資産	(6)	26,099 億円	24,799 億円	1,300 億円	5.2 %
		預金等(譲渡性預金を含む)	(7)	24,199 億円	23,174 億円	1,025 億円	4.4 %
		貸出金	(8)	16,269 億円	15,764 億円	504 億円	3.2 %
		有価証券	(9)	8,391 億円	7,647 億円	743 億円	9.7 %
【合算】	不良債権	金融再生法開示債権額	(10)	43,355 百万円	41,923 百万円	1,432 百万円	3.4 %
		総与信に占める割合	(11)	2.59 %	2.59 %	0.00 %	

*コア業務純益 ＝ 業務純益 － 国債等債券損益(5勘定尻) ＋ 一般貸倒引当金純繰入額

(2) 平成 26 年３月期（平成 25 年度）連結業績予想

フィデアＨＤ、荘内銀行、北都銀行の３社とも、平成 25 年 11 月 12 日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

		番号	通期	前期比	同増減率
フィデアHD(連結)	経常利益	(12)	8,000 百万円	1,062 百万円	15.3 %
	当期純利益	(13)	4,700 百万円	471 百万円	11.1 %

※平成 26 年３月期の配当については、普通株式１株当たり５円の期末配当を計画（年間５円）

【本件に関するお問い合わせ先（報道関係）】
フィデアホールディングス　ＩＲグループ
大石　TEL：022-290-8800
佐藤　TEL：023-626-9006
市田　TEL：018-837-1726

2. 荘内銀行

(1) 平成 26 年３月期 第３四半期（平成 25 年４月１日～平成 25 年 12 月 31 日）単体業績

経常収益は、役務取引等収益や有価証券関係収益の増加等により前年同期比増収。コア業務純益、経常利益、四半期純利益は、資金利益や役務取引等利益の増加等により前年同期比増益。

譲渡性預金を含む預金等残高は、個人預金、法人預金を中心に増加し、前年同期末比 731 億円（6.4%）増加の１兆 2,070 億円と引き続き大きく伸長。貸出金残高は、個人ローンや地方公共団体向け貸出を中心に増加し、前年同期末比 338 億円（3.9%）増加の 8,830 億円。

			番号	荘内銀行	前年同期(末)	前年同期(末)比	同増減率
【単体】	損益	経常収益	(14)	18,565 百万円	16,785 百万円	1,779 百万円	10.6 %
		業務純益	(15)	3,859 百万円	3,917 百万円	△ 57 百万円	△ 1.4 %
		コア業務純益*	(16)	3,947 百万円	3,675 百万円	271 百万円	7.3 %
		経常利益	(17)	4,298 百万円	2,587 百万円	1,710 百万円	66.1 %
		四半期純利益	(18)	2,683 百万円	1,534 百万円	1,148 百万円	74.8 %
	主要勘定残高（末残）	預金等(含む譲渡性預金)	(19)	12,070 億円	11,339 億円	731 億円	6.4 %
		貸出金	(20)	8,830 億円	8,492 億円	338 億円	3.9 %
		有価証券	(21)	3,731 億円	3,215 億円	516 億円	16.0 %
	不良債権	金融再生法開示債権額	(22)	17,982 百万円	19,840 百万円	△ 1,857 百万円	△ 9.3 %
		総与信に占める割合	(23)	1.99 %	2.29 %	△ 0.30 %	

*コア業務純益 ＝ 業務純益 － 国債等債券損益(5勘定尻) ＋ 一般貸倒引当金純繰入額

(2) 平成 26 年３月期（平成 25 年度）単体業績予想

		番号	通期	前期比	同増減率
荘内銀行(単体)	経常利益	(24)	4,000 百万円	272 百万円	7.3 %
	当期純利益	(25)	2,450 百万円	619 百万円	33.8 %

3. 北都銀行

(1) 平成 26 年３月期 第３四半期（平成 25 年４月１日～平成 25 年 12 月 31 日）単体業績

預かり資産関連手数料の積上げ等により、コア業務純益は増益。また、市況環境好転を映じて有価証券関係損益が増加したこと等により、経常利益、四半期純利益ともに増益。

譲渡性預金を含む預金等残高は、個人預金、法人預金を中心に増加し、前年同期末比 363 億円（3.0%）増加の１兆 2,328 億円。貸出金残高は、個人ローンや地方公共団体向け貸出を中心に増加し、前年同期末比 170 億円（2.3%）増加の 7,568 億円。

			番号	北都銀行	前年同期(末)	前年同期(末)比	同増減率
【単体】	損益	経常収益	(26)	17,023 百万円	17,252 百万円	△ 229 百万円	△ 1.3 %
		業務純益	(27)	3,153 百万円	4,025 百万円	△ 872 百万円	△ 21.6 %
		コア業務純益*	(28)	2,590 百万円	2,442 百万円	147 百万円	6.0 %
		経常利益	(29)	2,747 百万円	2,680 百万円	66 百万円	2.4 %
		四半期純利益	(30)	1,502 百万円	1,385 百万円	116 百万円	8.4 %
	主要勘定残高（末残）	預金等(含む譲渡性預金)	(31)	12,328 億円	11,964 億円	363 億円	3.0 %
		貸出金	(32)	7,568 億円	7,397 億円	170 億円	2.3 %
		有価証券	(33)	4,744 億円	4,517 億円	227 億円	5.0 %
	不良債権	金融再生法開示債権額	(34)	25,372 百万円	22,082 百万円	3,290 百万円	14.8 %
		総与信に占める割合	(35)	3.30 %	2.94 %	0.36 %	

*コア業務純益 ＝ 業務純益 － 国債等債券損益(5勘定尻) ＋ 一般貸倒引当金純繰入額

(2) 平成 26 年３月期（平成 25 年度）単体業績予想

		番号	通期	前期比	同増減率
北都銀行(単体)	経常利益	(36)	3,000 百万円	963 百万円	47.3 %
	当期純利益	(37)	1,700 百万円	494 百万円	40.9 %

以　上